

以上

約書如上兩國全權諸臣下印作證嘉永七年甲寅  
三月初三日我主耶穌基督後紀年之一千八百  
五拾四年三月廿一日在橫濱村築館鈴蘭防

横 文 字

[Faint bleed-through text from the reverse side]



嘉永六年七月淵端公御上書  
愚表中上書付

一方不利弱、扶良船海軍、紅洋船中、日海停、至、測量、海軍、  
振、各、海軍、軍、中、事、之、事、若、子、達、事、の、為、一、石、則、  
口、水、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、  
比、安、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、  
外、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、  
古、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、  
ト、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、  
情、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、  
九、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、

奔命の事と馬氏等との事も是れ其の由縁を記す是の如く其の由縁を記す  
 之れ終りて天下の事一尤相承下由事歟乎甚んて其の由縁を  
 以て此れ多時に山急變行要く山石の事も先年政の由縁を以て  
 擇特調練等しく三太を以て下裁に事ありて山海に堅固に  
 由縁場是是出據本也世話に在る也其の由縁を以て其の由縁を  
 軍艦之堅牢令城に如月旋自由と相承は同富津地甚信  
 核意未少の如く在るに其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を  
 江戸海に安らりと止る事之歟其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を  
 場市に最速也今以て之を存し以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を  
 至大轉形極く其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を

少を以て復多の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を  
 少の如く其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を  
 其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を  
 如加農の如く其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を  
 其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を  
 其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を  
 其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を  
 其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を  
 其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を  
 其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を  
 其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を以て其の由縁を



者之在竹身... 向... 天下... 外寇... 自... 用...  
 其... 志... 大雄... 者...  
 其... 河前... 天下... 沙政... 外寇... 自... 用...  
 其... 自... 良策... 勇... 任... 自... 用...  
 其... 平... 通... 平... 隔... 任... 下情... 達... 自...  
 其... 任... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 其... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 其... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 其... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 其... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 其... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 其... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 其... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

海國兵備... 軍艦製造... 天下... 通...  
 其... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 其... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 其... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 其... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 其... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 其... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 其... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 其... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 其... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 其... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 其... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 其... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 其... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...  
 其... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...







多量に二三万石云々石種ノ又此ノ相違ノ下左ノ如ク物等  
僅ニ以武蔵野相違ノ如ク付同種ノ如ク之ノ至多ノ事あり

第五 人乃硝炭ノ在法及 武具ノ在法之事

無利無損 最ニ流法ノ改ニ遊ルテ大業ノ出入同點海井如  
天邊ノ硝石斗ニ至テ至化下ノ至道行民ノ利ハ自ニ俄ノ由  
川上杯世ノ下ノ如ク道ニ至テ質ノ各道運送ノ場不見ニ  
自他硝場六七石不道運送ノ如ク以テ之ノ如ク之ノ事  
後ノ如ク作硝野秀ノ如ク永世ノ同益ノ相本下ノ事如ク  
尤ノ事ノ下ノ如ク家孫ノ授ノ見達ノ事如ク武具等ノ是法  
事ノ如ク此法乃御人ノ事如ク武具法乃御人ノ事如ク杯斗

人取川ノ事ノ同條ノ上ニ流法ノ改ニ相違ノ如ク後  
如ク道ノ下ノ事ノ如ク家孫ノ授ノ見達ノ事如ク武具等ノ是法  
正化ノ事ノ人取ノ事ノ如ク流法ノ改ニ相違ノ如ク後  
病ノ事ノ如ク中ノ事ノ如ク細ノ事ノ如ク見達ノ事如ク武具等ノ是法  
亦ノ事ノ如ク相違ノ如ク後  
法如ク之ノ事ノ如ク流法ノ改ニ相違ノ如ク後  
ノ利ノ事ノ如ク相違ノ如ク後  
武具等ノ事ノ如ク相違ノ如ク後  
如ク此武具等ノ事ノ如ク相違ノ如ク後  
如ク此武具等ノ事ノ如ク相違ノ如ク後



有之... 七月

七月

勝 禪

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

○ 嘉永六年癸丑八月

杉本古捕上書

先般浦... 家後... 此は退帆... 御前代... 以後人... 仕り... 字法... 派... 三...